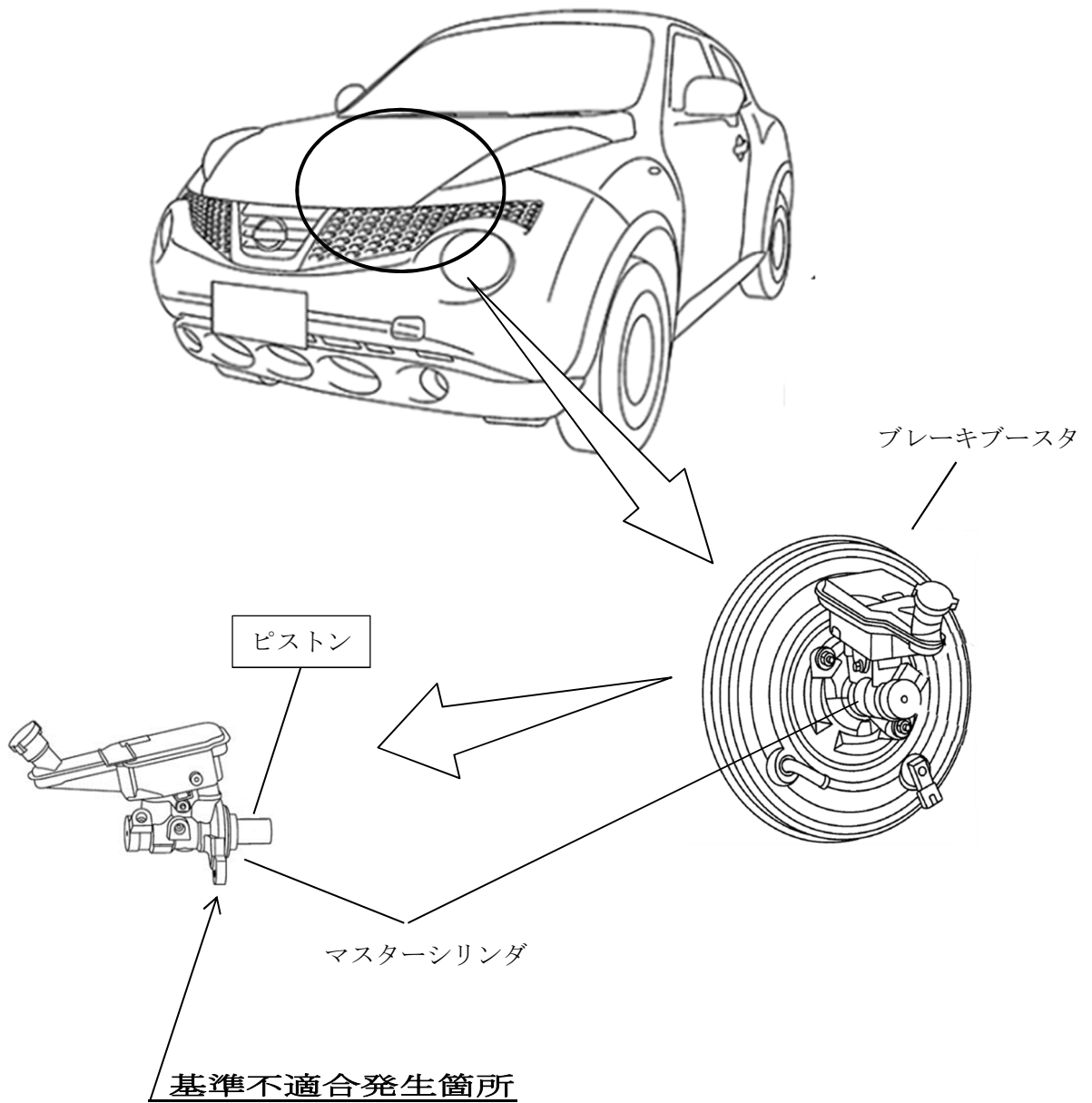


改善箇所説明図



ブレーキマスターシリンダにおいて、倍力装置内部のスプリングの製造のバラツキを考慮した設計をしていなかったため、ピストンが傾いて押されカップシールとの摺動抵抗が高くなり、ブレーキペダルを速く踏みこんだ際にカップシールが捲れることがある。そのため、シール部から倍力装置内部にブレーキ液が漏れ、そのままの状態で使用を続けると警告灯が点灯し、最悪の場合、制動力が低下して制動距離が長くなるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該マスターシリンダのピストンに専用の潤滑剤を塗布する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、潤滑剤を塗布する箇所を示す。